



ネットワーク大学コンソーシアム岐阜では、平成30年度公開講座「岐阜を知ろうさらに識ろう」を開催いたします。ここでは、加盟機関の教職員が、最近の研究成果等を踏まえ、岐阜県の産業・技術・自然・教育など、岐阜に関する様々な身近なピックをお話します。高校生以上の方ならばどなたでも無料で参加いただけます。また、一部の講義は、インターネットによるオンデマンド配信により受講することもできます。

岐阜を知ろうさらに識ろう

- 第1回 5月17日(木) **岐阜県の環境放射線量率測定**
(岐阜医療科学大学保健科学部准教授 山内 浩司)
- 第2回 6月14日(木) **伝え継ぎたい岐阜県の家料理**
(岐阜市立女子短期大学食物栄養学科准教授 堀 光代)
- 第3回 6月28日(木) **地域で取り組む子育て支援**
(岐阜県立看護大学教授 服部 律子)
- 第4回 7月19日(木) **音楽療法について**
(大垣女子短期大学音楽総合学科教授 小西 文子)
- 第5回 9月13日(木) **“異文化”として見た日本 - 留学生の目を通して日本人の行動様式を再認識する**
(中日本自動車短期大学准教授 古川 竜治)
- 第6回 10月18日(木) **老いと健康～偉人から学ぶこと、私たちが残すもの～**
(岐阜保健短期大学リハビリテーション学科講師 藤井 稚也)
- 第7回 11月15日(木) **岐阜の自然は面白いーその特徴と多様性**
(高山自動車短期大学非常勤講師 小野木 三郎)
- 第8回 12月13日(木) **岐阜県民の健康づくり「セルフ筋膜リリース」**
(平成医療短期大学リハビリテーション学科教授 田島 嘉人)
- 第9回 1月17日(木) **地方の一兼業農家ができることーその実践を通じて**(情報科学芸術大学院大学教授 小林 孝浩)
- 第10回 2月14日(木) **岐阜県における地域づくりの最前線ー和良おこし協議会の活動を中心にー**
(岐阜大学地域科学部准教授 林 琢也)



会場：岐阜大学サテライトキャンパス（裏面参照）
 時間：14:00～15:30（受付は13:40～）
 申込方法：裏面参照

講義概要

第1回	福島第一原発事故により環境放射線に対する関心が高まっています。このような事故の影響の程度を評価するには事故時以外、平常時の環境放射線量率の把握が重要です。私たちのグループでは事故以来岐阜県内の環境放射線量率を測定してきました。ここではその測定方法および得られた結果を説明します。またこれと共に、生活環境、身の周りに存在する環境放射線源についても解説します。
第2回	近年、季節の料理や行事食を伝える機会は減少傾向にあり、「ふるさとの味」も手作りではなく購入することが多くなりました。そこで日本調理科学会では、全国の学会員が担当する都道府県の料理の聞き書き調査を行い、その中から次世代に伝えていきたい家庭料理を選定しました。本講座では、岐阜県内の伝えたい料理や懐かしい味、地域の食材に対する知恵や工夫について紹介していきます。
第3回	近年の少子高齢化により、子どもの数は年々少なくなりそれに伴い子育てに関わる課題が数多くあげられています。本講演では、現代の子育て家族の抱える課題と子育てを支援する側の課題を捉えながら、近年の子ども子育て支援法に明記された子育て世代包括支援センターなど新たな子育て支援施策について解説を加え、求められる支援のあり方を考えていきます。特に岐阜における子育て支援の現状を地域の実践を紹介しながら共有し、参加者とともに岐阜での子育てがより豊かな経験になるような地域づくりについて考えていきます。
第4回	音楽の持つさまざまな作用を健康に役立てようとする音楽療法は、主に福祉施設において行われています。岐阜県の音楽療法は全国に先駆けて行われていた経緯があります。音楽療法についての講義と実際の音楽活動の紹介を行います。
第5回	グローバル化や日本の少子高齢化などで、日本に在住する外国人も年々増え続けています。現在岐阜県にも多くの留学生が学びにやってきましたが、本学においても10ヶ国以上からの留学生が日々日本人とともに学んでいます。彼らは日本で生活する中で様々な“異文化体験”をしています。そこで彼らの経験も交え、我々日本人の行動様式や規範を客観的な目線でとらえ、“異文化コミュニケーション”、“異文化理解”について考えてみます。
第6回	「老い」について学ぶことは、生きることを再考するきっかけとなり得ます。老いは誰もが必ず経験する事象ですが、おそらく、その誰もが自身の老いを正確に予測しながら生きることができません。本講義を通じて、老いと健康の視点から、豊かに老いる方法について考えてみませんか？老若男女を問わず、全ての世代に「老い」の学問を。
第7回	本州の中央部に位置する岐阜県は、東西南北と植物分布の十字路であり、美濃平野部から飛騨山脈の高山（こうざん）に至る垂直分布の見本園でもあります。県鳥に指定されているライチョウを例にするまでもなく、氷河期からの遺存生物群も多く、飛騨山脈は生物多様性の屋台骨といえます。北半球の植生が縮図となっている岐阜県は自然、その美態を紹介し、ふるさとへの愛着の深化をめざします。
第8回	今まで注目されていなかった身体の組織、“筋膜”。今、整形外科の世界ではシンデレラと呼ばれ注目されています。筋膜が引き起こす体の不調を、自分でできる筋膜リリースで解消しましょう！この講演では、簡単な理論の講義と体験を通して、そのコツをつかんでいただけるようなプログラムを組んでいます。岐阜に住まれる皆様の健康づくりに貢献できれば幸いです。
第9回	農業の後継者問題はどの地方においても問題として位置付けられ、集団営農を組織するなどしてその解決に取り組まれています。我が家では2007年に農地の耕作権を委譲され、稲作兼業農家では平均的な面積の管理運用を課題として感じました。この講座では、これをきっかけとして、これまで行ってきた兼業農家としての取り組みを紹介し、今の時代に農地でできることや、その意義を考えてみます。
第10回	人口減少社会の中で、地域の持続可能性を高めようとするためには、住民が主体的に自らの居住する地域の問題に目を向け、課題解決のために地域内外の様々な人材と連携や交流を深めていくことが重要視されています。本講義では、郡上市和良町において地域おこし・地域づくりに関わる活動を精力的に行っている「和良おこし協議会」の実践を紹介するとともに、岐阜県内の地域づくりや地域振興の方向性について考察していきたいと思えます。

会場案内図

※各回とも募集定員は50名(先着順)です。



岐阜大学サテライトキャンパス

(岐阜市吉野町6-31 岐阜スカイウイング37東棟4階)

会場である岐阜大学サテライトキャンパスへは、岐阜スカイウイング37東棟のエレベーターにて、4階までお越しください。エレベーターを4階で降りていただき、右手にお進みいただくと、岐阜大学サテライトキャンパスに到着します。

お車でお越しの際は、近隣の駐車場をご利用ください。

申込方法

1. ネットワーク大学コンソーシアム岐阜ホームページの申込フォームから申込
2. 電話・FAX・メールのいずれかにて下記の情報をコンソーシアム事務室まで連絡

FAX用 受講申込書 (FAX送付先番号: 058-212-0391)

以下のとおり、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成30年度公開講座(岐阜を知ろう)に参加を申し込みます。

お名前(フリガナ)		□男性 □女性
電話番号		
メールアドレス	※オンデマンド配信希望の方は記入必須	
受講希望回	<input type="checkbox"/> 第1回 <input type="checkbox"/> 第2回 <input type="checkbox"/> 第3回 <input type="checkbox"/> 第4回 <input type="checkbox"/> 第5回 <input type="checkbox"/> 第6回 <input type="checkbox"/> 第7回 <input type="checkbox"/> 第8回 <input type="checkbox"/> 第9回 <input type="checkbox"/> 第10回 <input type="checkbox"/> オンデマンド配信(インターネット受講)を希望します	
住所	〒 -	
年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60歳以上	
個人情報の同意	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜から他の講義や講座情報をご案内するため、お名前・住所等を利用させていただいてよろしいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 同意する <input type="checkbox"/> 同意しない	

お申し込み時にいただいた個人情報は、講座担当大学等と共有させていただく場合があるほか、休校など講座に関するご連絡やコンソーシアムからのイベント情報のご案内(同意を得た方のみ)に利用させていただきます。情報は厳重に管理し、法令上の理由など特段の事情がない限り許可なく第三者への提供はいたしません。